



深刻な景気・雇用情勢のなか 区民のくらし明るくする政治を!

貧困と格差の拡大が進む日本、その貧困率は経済協力機構（OECD）のなかでも最悪の水準です。区民の世論と運動で、くらし・営業・子育て・介護等の要求をしっかり守る区政、国政に変えるときです。

もっとつくって! 特養ホーム グループホームを

区内の特養ホームは5か所。入所を待っている方は800名近くいます。しかし区は、9年前に「千駄木の郷」を開設して以降、増設する計画はありません。築後22年を経た「大塚みどりの郷」は老朽化がすすみ改修が必要です。日本共産党は、隣の都有地（現在民間業者に2年限りで貸出中）を取得し、特養ホームを増築するよう再三要求しています。

高齢者のグループホームも足りません。施設を増設し、住み慣れたところで生活できるように取り組みます。



大塚みどりの郷

認可保育園に希望しても入れない児童は、09年11月現在395名もいます。区は、10年～14年にかけて私立認可園を開設する計画ですが、ゼロ歳児の待機児童対策は認証保育所の開設のみです。

認可保育園の増設で 待機児童なくせ

区はこの間、認証保育所の誘致中心の対策を行っていますが、保育の質を保ち安心して預けられる認可園の増設が必要です。

いま、国は待機児童解消を名目に、保育所の面積などの最低基準を引き下げようとしています。認可保育園の増設に補助するなどの対策こそ急ぐべきです。



文京区長に2010年度予算要望をする区議団

何でも ご相談ください

年越し派遣村の再現で幕を開けた新年。新政権誕生でも、「仕事がない」、「医者にかかりたいけどお金がない」——切実な現実。仕事、住居、健康など何でもご相談ください。

03-5803-1317(区議団控室)
03-3815-9301(小竹事務所)



千石会館跡地を駐輪場用地にと都に無償貸与を申し入れる

どこに建てるか? 「福祉センター・教育センター」

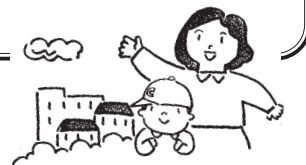
07年から検討を続けてきた、「福祉センター、教育センターの建て替え地」は未だ結論が出ず、新たに副区長をトップとする庁内「検討委員会」で、今年2月をメドに結論を出すという異例の事態に。

候補地に、湯島総合体育館跡地を加え、旧五中、旧小石川保健所跡地の3ヶ所とし、他に適地があれば検

討対象にすると、一転して柔軟姿勢になりました。

懸案の障害児の療育相談や教育相談等の連携、施設の一体化の問題に加え、保育園待機児童や中高生の放課後居場所対策、児童虐待への対応等も検討課題となりました。

ますます「子どもセンター」の必要性が増しています。



3人乗り自転車に補助

子ども2人を前後に乗せて走る「3人乗り自転車」の購入に、区が3万円を助成します。

病児・病後児保育の拡充

順天堂病院は旧元町小学校を活用して「病後児保育」を6月から開始します。保坂こどもクリニック（白山5丁目）は、「病後児」に加え、病気で保育園や学校にいけない子どもを預かる「病児保育」も実施します。

キッズルームが利用しやすく

「キッズルーム」がシビック5階にリニューアル。保育時間が延長され、料金は3時間まで1800円、1時間超える毎に600円と利用しやすくなります。

雨水浸透柵を設置します

都市型水害対策のため、大塚地域につづき、音羽、汐見、駒込、本郷地域でも道路側溝に「雨水浸透柵」の設置をすすめます。

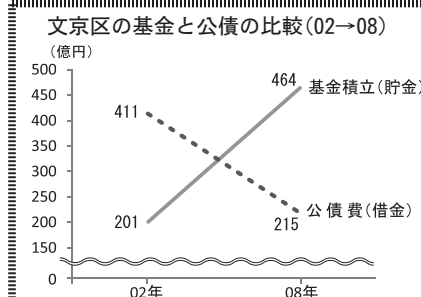
実現しました



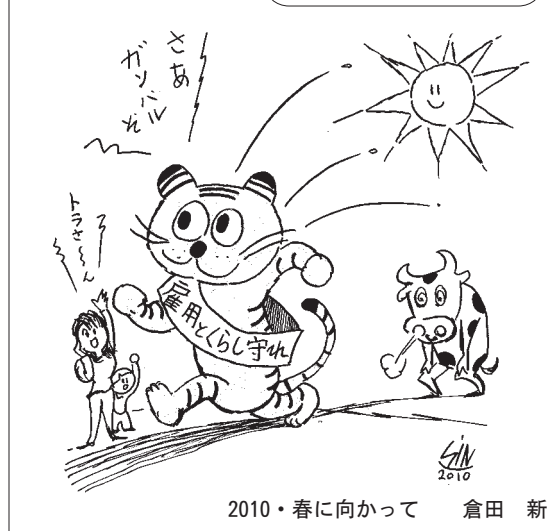
財源はあります

文京区は02年以降、196億円の借金を返済したうえ、263億円の貯金が増えました（グラフ参照）。特別区民税と特別区交付金は、合計で年平均399

億円と堅調な伸びです。財源はあります。戦後最大の経済危機に襲われている日本。区民の命と暮らしを守る、区の支援がいま必要です。



みんなの春夏秋冬



2010・春に向かって 倉田 新

高齢者用

空き住宅の活用始まる 区営住宅の建設で抜本策を

文京区は高齢者の住宅対策のため、住宅ストックを活用する「高齢者賃貸住宅登録事業」を打ち出しました。高齢者の入居を拒まない賃貸住宅を区に登録し、困っている高齢者にあっせんします。入居者には10年間の家賃助成を実施し、登録をした家主には、謝礼金、バリアフリー化工事費の助

成、緊急通報装置の設置を行います。日本共産党は、一貫して高齢者などの住宅問題を区議会で取り上げてきましたが、安心して住み続けられるためにはさらに、シルバーピアや区営住宅の建設など抜本的対策が必要です。